

今回は、家庭クラブによる水田魚道フィールドワークについて報告します。

◇ 岐阜農林高校を訪問、水田魚道や魚道を活かしたコメ生産について学びました！

日 時: 2018 年 6 月 17 日(日) 13:30 ~ 16:00
訪問先: 岐阜農林高等学校 遠藤貴史先生、環境科学科の生徒の皆さん
内 容: 水田魚道や魚道を活かしたコメ作りについて

◇ 水田魚道とは何か？ ～魚の棲むきれいな水田で安全なコメ作り～



水田魚道とは、農業用水と水田とを結ぶスロープのこと。圃場整備事業の結果、水路と水田に段差ができ、生き物にとって大きな障害となり行き来できなくなってしまったことを解消する施設のことです。

現在、岐阜県では水田魚道の設置を推進、農業用水と水田の生態系ネットワークを再生し、多様な在来魚類の生息環境拡大を図る取組みを行っています。その一貫として、岐阜農林高校において、平成 26 年に水田魚道を設置し、魚の遡上



調査、魚道設置による水田の環境変化調査等各種調査を実施してきました。

今回は、環境科学科の生徒のみなさん 10 名と、指導にあたっている遠藤貴史先生（関高同窓生）に水田や魚道を案内していただきました。

◇ 水田をめぐる環境とコメ作りの未来を考える

今年度、家庭クラブでは、コメの地産地消、持続可能な地域経済、水田をめぐる環境保全等のテーマを掲げ、研究活動や実践活動を行う予定です。こうしたテーマは、地域の農業や自然環境を考える上での重要課題であると同時に、国際社会で取り組むべき大きな課題であるといえます。



SDGsのロゴより